

すいへいせん

2025年 新春号

社会福祉法人 愛生会 障がい者支援施設 吉浜荘

基本理念

敬愛・誠実・信頼・奉仕・反省を軸に豊かな生活を提供します。

基本方針

- ・利用者と職員が笑顔で接し、心を通わせながら生きがいのある人生のお手伝いをいたします。
- ・一人一人の利用者を大切に、豊かで安心できる安全な生活が送れるように支援します。
- ・地域の一員として活動し、地域福祉の発展に貢献します。
- ・利用者に満足のいくサービスを提供する為に、専門的な知識と技術を高めるように努めます。
- ・環境を整え、安全で住みやすい施設づくりに努めます。



2025年最初の「すいへいせん」になります。

1月に開催する予定だった新春カラオケ大会ですが、荘内でコロナ感染が確認されたため、延期となっていました。コロナも落ち着き、2月12日に無事に開催することができました。

今年も午前の部・午後の部に分かれ1日かけて行い、笑いあり涙ありの大会となり、大いに盛り上がりました。

2025年 新春号 社会福祉法人 愛生会 障がい者支援施設 吉浜荘

令和7年 理事長年頭の挨拶

新春のお慶びを申し上げます。

ご利用者ご家族の皆様、そして地域の皆様におかれましては、穏やかな新年をお迎えのことと思います。

昨年は、新年早々に石川県能登半島で震度7の地震、津波が発生し、9月には被災地に追い打ちをかけるような記録的な豪雨により甚大な被害が発生しました。

また、吉浜荘施設では、2月から3月にかけて、新型コロナウイルスもより初めてご利用者の感染が確認されました。

法人といたしましては、このような突然の自然災害や感染症などの不測の事態が起こった場合でも施設業務を中断させない、早急に回復させるための方針、体制、手順などをまとめた「業務継続計画」を3月に策定いたしました。

このようなことから、本計画の実効性を高めるための職員研修、様々な災害、感染症を想定した訓練の実施、見直しなどを繰り返しながら、ご利用者の皆様や職員の安心と安全を確保して参ります。

更に、引き続き施設設備の劣化対策、ご利用者の定員確保と職員の適正な配置、原油価格、物価価格の高騰を踏まえた対策など、多くの課題が山積しているところであり、意思決定の場を効果的に活用しながら当法人愛生会の安定的な経営とご利用者の安全で快適な生活支援に最善を尽くします。

加えて、地域社会貢献事業の一環として、令和2年より進めて参りました交通手段を持たない方々の「高齢者買い物送迎車運行事業」に地元吉浜地区助け合い協議会との連携を深めながら、継続的、積極的に取り組んでまいります。

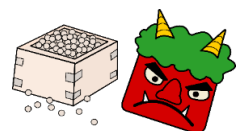
本年の干支は、巳年、巳は脱皮をすることから復活と再生を意味し、植物に種子が出来始める時期、次の生命が誕生する時など、「幸運と繁栄」のする一年と言われています。

どうか皆様におかれましては、今年も変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、本年が幸多き一年になりますよう心から祈念し、年頭の挨拶といたします。

社会福祉法人愛生会 理事長 佐々木 伸介



〜〜〜節分の日〜〜〜



今年の鬼は女性陣でした
鬼はそと〜。福はうち〜。

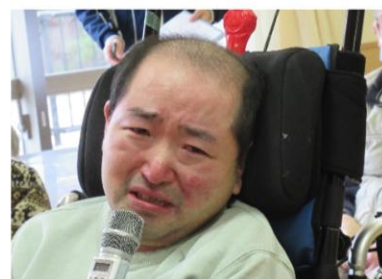




令和7年新春カラオケ大会



2月12日に「新春カラオケ大会」を実施しました。皆さんがそれぞれ思う存分に歌い、笑顔溢れる大会となりました。



クリスマス忘年会



編集後記

新しい年になり、早くも2か月が過ぎようとしています。年末には毎年恒例のクリスマス忘年会が行われ、ハンドベルでの演奏や、職員による”吉浜音頭”など披露され、利用者のみなさんに楽しんでいただくことができました。今年も、お花見や運動会、納涼祭り、買い物外出などみんなが楽しみにしている行事が盛沢山です。今年も、みんな元気で仲良く楽しく過ごしたい

